

校長室より

つれづれ

平成27年11月12日(木)

定期的に『校長室便り』を発行していますが、ふと感じたことなどを『つれづれ』で皆さんに届けます。

MRJ初飛行

大学生の時、材料工学を学びました。材料工学とは、さまざまな科学的知識を融合して新しい材料（素材）の開発などを行う学問です。4回生では、研究室に配属され、ひたすら研究の日々でしたが、知的好奇心が大いに満たされた1年間でした。

当時は、ニューセラミックなどの新素材が登場し、新素材開発が勢いづき始めた頃でした。以来30年、さまざまな新素材が開発されてきました。新素材の使用は、より機能性の高いさまざまな工業製品の誕生につながりました。

ところで、昨日の産経新聞夕刊の1面には、「国産ジェット初飛行成功」の大見出しが踊っていました。三菱航空機が開発した国産初のジェット旅客機MRJ（三菱リージョナルジェット）が、日本の航空史に新たな足跡を残したのです。

この機体は、次のような特徴を持っています。炭素繊維複合材を使用し、軽量化と強度を両立。最新のエンジンを搭載し、従来機に比べ、燃費性能と航続距離の大幅改善。最新の電子テクノロジーにより、格段に高い安全性の確保。

実は、これらを実現するには、新素材はなくてはならないもののなのです。新聞記事を読み、初飛行のようすをテレビで見て、開発者のこれまでの努力に敬意を表するとともに、今後の国産ジェット開発の発展にますますの期待を寄せたいと思います。

このような明るい話題に感動し、将来、人のために役立つものを開発するような人が出てくることを願います。

ちなみに、第2次世界大戦時開発された「零式艦上戦闘機（通称零戦）」を開発したのも三菱（三菱重工業）でした。



<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>